

ディープテックで未来を描く

中小機構北海道本部 北大ビジネス・スプリング

中小企業基盤整備機構(中小機構)北海道本部の運営するインキュベーション施設「北大ビジネス・スプリング(BS)」でディープテックを応用した企業が始動している。AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)、医療系など、社会実装に向けて着々と準備中だ。北大BSを拠点とするディープテック企業を紹介することも、北大BSの現状と将来などを北大の金子純一産学・地域協働推進機構副構長に語ってもらった。

成功するハイテクベンチャー 創生のノウハウ

独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部は「成功するハイテクベンチャー創生のノウハウ」と題した北大ビジネス・スプリング拡大セミナーを北海道大学フッド&メディアカレッジ(以下FMC)国際拠点で開催し、限定で集まった参加者とオンラインによる聴講者合わせて200人が起業へのステップを学んだ。

冒頭、中小機構北海道本部の富樫透本部長は「産学の地域連携は私たちの重要な使命。セミナーにも熱心な声が寄せられ、今回の開催を決めた」とあいさつ。引き続き、ケイエスピーの窪田規一社長が壇上上がった。

窪田氏は、東京大学発のバイオベンチャーとして成功したペプチドリームを創業した後、2021年にインキュベーター企業のケイエスピーの代表に就任した。

北大ビジネス・スプリング拡大セミナー

ベンチャーとしての成功経験を語りながら「社会実装が運ばれてしまうビジネスモデルは難しい」、「研究と経営は基本的に異なる」、「研究開発者」は「マネージャ(調剤)である経営者を見つければいい」という投資が肝要。お金の追いついてしまう会社は成功しない。また、重要なキーワードは「最終的な目標には、また、最終的な目標には、世界で一番素晴らしい、ではなく、世界でウチにしかできないものを掲げられるか。オンラインにならないか。」



基調講演で「オンラインワン事業を目標にしたい」と語ったケイエスピーの窪田規一社長

価値創造 要の存在

「北大ビジネス・スプリングは北大リサーチ&ビジネスパーク(R&BP)の要だ」。地域に根差した伝統的なモノづくり産業に乏しい北海道は、製造業の影が薄くもいわれる。ならばゼロから作らなければならないか、北大や北海道、札幌市、経済団体などが新しい仕組み作りから検討を始めている。工学博士であり総務部長を務める金子純一北海道大学産学・地域協働推進機構副構長に話を聞いた。

北大は戦略目的の一つとして「国内外の地域や社会における課題解決、活性化及び新たな価値の創造に貢献する」と



北海道大学 産学・地域協働推進機構副構長 金子純一氏

「研究機関の集積が進む北大の北キャンパスと道有地を含む周辺エリアに良好な研究環境とビジネス環境を整備しよう」と計画を進めている。世界中を対象にして先端的研究開発を促進させ、大学が有する知的財産を活用した新しい技術や新製品の開発、ベンチャー企業、新産業を創出させる。

北大BSのディープテック企業

大学や公的研究機関などで開発されたものの、社会で活かすにはコストがかかるなどの理由で社会実装されなかった技術。差別化された高度な科学・エンジニアリング技術を指し、バイオテクノロジー、人工知能(AI)、ロボティクス技術など幅広い分野にわたる。日本では微生物のミドリムシから健康食品を開発したユークレナ(東京)を皮切りに、スタートアップ企業を中心に次々と登場している。

Keyword	ディープテック
①本社所在地	②代表者
③創業年	④事業概要
⑤北大BS居室	

【HILO株式会社】
①札幌市北区北21西12の2、北大ビジネス・スプリング107号室②天野麻穂③2021年④北大発の蛍光バイオイメージング技術を使って、分子標的薬の効果を患者ごとに治療開始前に判定する。慢性骨髄性白血病を対象にし、将来はすべてのがんに拡大対応させる。⑤107号室(本社)

【AWL株式会社(アウル)】
①東京都千代田区丸の内3丁目3の1 新東京ビル434号室②北出宗治③2016年④独自の人工知能(AI)技術で既存の防犯カメラやデバイスをAI化し、流通店舗などに活用、次世代の小売を実現する。ハード・ソフト両面の高い開発力をもつ。⑤105、106号室(AI HOKKAIDO LAB)

【株式会社RAINBOW】
①札幌市北区北21西12の2、北大ビジネス・スプリング206号室②高橋悠③2019年④北大脳外科発のベンチャー。脳梗塞患者の細胞を取り出し、独自のHUNOO1と呼ばれる技術で脳の動きを正常化に向けた自家骨髄間葉系幹細胞製品。2026年度の事業承認を目指す。⑤206号室(本社)

【株式会社調和技研】
①札幌市北区北21西12の2、北大ビジネス・スプリング305号室②中村拓哉③2009年④AIの導入コンサルから研究開発、実装、運用、さらにエンジンの提供までを行う。AI研究で世界メジャーの川村秀憲北大教授の調和系研究室からスタートしたベンチャー。各種AIエンジンを応用した実装事例は全国で高評価を受ける。⑤305、306、311号室(本社)

【ティ・アイ・エル株式会社】
①東京都千代田区九段北1の12の4、徳海ビル6階②藤浪慧③2017年④あらゆるAIテクノロジーを駆使、技術力ですべてに国内屈指の存在。業種、業態を問わず最適なデバイスを用意して、AIやビッグデータ解析などを組み入れた高度なアプリケーションを提供。⑤204号室(北海道テクノロジーセンター)

【メディカルフォトンクス株式会社】
①札幌市北区北21西12、コラボ北海道 Dルーム②飯永一也③2015年④通常は採血して行う血液検査を、人体に害のない近赤外光を照射し、体内を透過して出てきた光を分析して人体の散乱係数と吸収係数を同時に計測する技術をもつ。これを応用した血液中の脂質測定機「キャライド」も開発した。⑤102、302号室

地場企業との共同研究 拡充

「世界の問題解決への大きなステップが北海道での貢献。北大は北海道の基幹大学だ。地域との連携が非常に重要だと考えている。人口100万人の札幌市の中心部に位置する利便性もあろう。研究開発から事業化までの取組を一貫して支援するために北海道内の産学官の12機関で構成される推進協議会が存在し、具体的な取り組みを進めている」

「地場の中小企業対応については北大・北キャンパスに隣接して立地する北海道立総合研究機構が広範な企業ニーズに対応しており、北大は道総研などに対応できない案件に対して解決手段を提供することが多い。また、地元中小企業との連携は、中小機構、北海道、札幌市、北大が手を組んで始めたインキュベーション施設が北大BS。北大R&BPの中に北大BSがある。発足して20年が経ち、ようやくいろいろなパーツが集まって機能し始めた。北大BSはこの施設全体の要となる存在だ。どんなに優秀な技術や開発力をもつても、飛躍への入口

「2000年代は札幌市、北大が手を組んで始めたインキュベーション施設が北大BS。北大R&BPの中に北大BSがある。発足して20年が経ち、ようやくいろいろなパーツが集まって機能し始めた。北大BSはこの施設全体の要となる存在だ。どんなに優秀な技術や開発力をもつても、飛躍への入口

大学からビジネスが生まれる! 新たな技術・アイデアをカタチに

北大ビジネス・スプリング

〈北海道大学連携型起業家育成施設〉

Be a Great Small. 中小機構

このような方におすすめです

- 大学との連携や研究成果の活用により 新たな事業展開を図りたい
【個人】【ベンチャー企業】【中小企業】など
- 自身の研究のビジネス化を図りたい
【大学の研究者】【学生】【大学発ベンチャー】など

※入居につきましては中小機構の所定の審査を経て決定いたします。くわしくはホームページをご覧ください。

公募受付 4/6 ~ 4/20

入居までの流れ

居室公募 → 申込み → 入居審査 → 入居決定 → 賃料振込 → 入居契約

※申込み書の記載等については、北大ビジネス・スプリングIM室へご相談ください。

交通アクセス

徒歩・地下鉄で
札幌市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩約20分
※エルムトンネル上、地上歩道道の通行が可能です

タクシーで
JR「札幌駅」北口より乗車約15分

自家用車で
道道下手稲札幌線(新川通)
札幌工業高校前信号交差点よりお入りください
※地下鉄北18条駅側からは車両の進入はできませんのでご注意ください

居室(ウェットラボ)

会議室

商談室

リフレッシュコーナー